

活動状況報告書（1月分）

スポーツコース 佐藤 弘也

1月に入り語学学校は最終週。以前よりレベルの高いクラスの生徒と話す機会も多かったが何とか無事に卒業することができた。最後テストでは以前より点数も上がっていたので留学当初よりはレベルアップできていると思う。もちろん言語を学ぶことができたが、文化や表現の仕方など言語以外のことを学べたことは大きな財産になったと思う(写真1、2)。

1月13日に同じオンタリオ州にあるロンドン市に引っ越しした。1月15日から車いすカーリングカナダ代表理学療法士のSari氏、Alysia氏のいるNeuphysio Rehabilitationでの研修が開始となった(写真3)。ここには3ヶ月通う予定であり、主に両氏と他のセラピストの治療見学・補助、車いすカーリングに関わる事業の見学などを行う予定である。

まずカナダの医療システムや保険、文化の違いもあり、患者に対しての説明の仕方が異なり驚くことが多かった。カナダは日本と異なり医師からの指示がなくても患者が理学療法士にダイレクトにアクセスすることができ、理学療法士による管理体制が十分にされている。理学療法の歴史も日本より長いので、患者に対しての評価、治療方法も普段と異なってとても興味深く、セラピストによってもアプローチ方法が違うこともあり全てが勉強になっている。その中で最も収穫だったのはコミュニケーションの取り方、接し方、表現の多様さである。これは文化の違いが大きく影響しているかと思うが、患者との距離感や褒め方、スイッチの入れ方などはとても参考になった。

車いすカーリングにおいてはオンラインでNATIONAL WHEELCHAIR CURLING PROGRAMに所属する選手との面談場面を見学させて頂いた。理学療法士と定期的な面談を行い、場合によっては理学療法評価、アドバイスなどを行うことをしていた。さらに選手に対する講義場面を見学させて頂いた。代表選手や次世代選手に対して定期的にトレーニングや怪我の予防などについても指導し、カナダの広域な地域でも遠隔、現地合宿を組み合わせるコミュニケーションをとっておりとても参考になった。



写真1：語学学校での様子



写真2：語学学校卒業



写真 3 : Neuphysio Rehabilitation での研修開始